

第 14 区

定数 18 名

候補者 18 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 堀口 明彦 2. 1960/3/15
3. 藤田医科大学ばんだね病院
4. 1984 年藤田保健衛生大学医学部卒業，国立名古屋病院（現名古屋医療センター）研修医
2016 年藤田医科大学医学部消化器外科学講座主任教授
2020 年 藤田医科大学ばんだね病院院長
5. 1984 年藤田保健衛生大学卒業，2013 年同大学外科学講座教授。肝胆膵外科領域を主に，幅広い外科医教育を行っております。日本外科学会の発展に全力を尽くしたいと思います。
6. 現職

1. 江畑 智希 2. 1966/1/5
3. 名古屋大学医学系研究科 腫瘍外科
4. 1990 年名古屋大学卒業，第一外科入局。2002 年同大学院修了，静岡がんセンター肝胆膵外科，2003 年名古屋大学腫瘍外科助手，2009 年同講師，2011 年同准教授，2020 年同教授。
5. 消化器（肝胆膵）外科医として診療，研究，教育を行い，外科医の増加・育成に取り組んでいます。また現在，理事 2 期目で専門医認定/予備試験委員会を担当しています。今後の学会の発展に尽力する所存です。
6. 現職

1. 芳川 豊史 2. 1971/10/2
3. 名古屋大学医学部附属病院
4. 1997 年京都大学卒業，20008 年トロント大学胸部外科クリニックフェロー，2009 年から 2019 年，京都大学呼吸器外科（助教，講師，准教授），2019 年名古屋大学医学部呼吸器外科教授就任，現在に至る
5. 東海中部地域の中心施設の一つとして，呼吸器外科分野のみならず外科分野の発展の一助となるように，日本外科学会の一員として積極的に活動していきたいと思っています。
6. 現職

1. 須田 康一 2. 1975/12/19
3. 藤田医科大学 総合消化器外科
4. 2000 年 慶應義塾大学医学部卒
2010 年 藤田保健衛生大学上部消化管外科 助教
2016 年 慶應義塾大学医学部腫瘍センター 講師
2018 年 藤田医科大学総合消化器外科 准教授
2021 年 同 主任教授
5. 上部消化管領域ロボット支援手術の手法標準化や保険収載，診療報酬増点，手術手技研修施設の開設と運営，国産手術支援ロボット開発等に携わった経験を活かし，外科学の発展と後進育成に全力を尽くす所存です。
6. 現職

1. 神田 光郎 2. 1975/11/15
3. 東海国立大学機構 名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器外科学
4. 2001 年 名古屋記念病院
2007 年 名古屋大学 消化器外科学 博士課程
2010 年 ジョンズ・ホプキンス大学
2012 年 名古屋大学 消化器外科学 助教，講師
2025 年 名古屋大学 消化器外科学 教授
5. 消化管外科領域を専門とし，診療・研究・後進指導に取り組んでいます。エビデンスに基づく安全な外科医療の推進と外科学の発展，次世代を担う外科医の育成に貢献すべく，代議員に立候補いたします。
6. 新任

1. 六鹿 雅登 2. 1969/11/14
3. 名古屋大学大学院医学研究科 心臓外科
4. 1996.5 大垣市民病院研修医
2006.10 名古屋大学に帰局
2009 より 2 年間カナダアルバータ大学留学
2011.7 より 名古屋大学心臓外科に復帰
2022.11 名古屋大学心臓外科 教授
5. これまで培ってきた心臓外科領域での知見を活かし，臨床・教育・研究を通じて外科学会の更なる発展に尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
6. 現職

1. 菊森 豊根 2. 1965/3/11
3. 名古屋大学医学部附属病院
4. 1989 年名古屋大学医学部卒業
1999 年名古屋大学医学部医学研究科修了
1999—2001 年 米国テキサス大学 MD アンダーソンがん研究センター博士研究員
5. 乳腺・内分泌外科の専門医として外科学会の発展に全力で努力していく所存です。
6. 再任

1. 坂野比呂志 2. 1971/9/27
3. 名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学
4. 1996 年名古屋大学医学部卒業
2006 年名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学博士課程修了
2014 年名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学 助教
2015 年同講師
2022 年同教授
5. 血管外科の専門家・責任者としてアカデミックな面も含め、外科医師の育成に努めます。また先進的な外科治療を継続して発展させるべく、環境を整備してまいります。
6. 現職

1. 児玉 章朗 2. 1972/1/31
3. 愛知医科大学
4. 1997 年 3 月名古屋大学医学部卒業後、半田市立半田病院、大垣市民病院、名古屋大学血管外科、小倉記念病院、名古屋大学血管外科、英国バーミンガム大学、名古屋大学血管外科を経て愛知医科大学血管外科に勤務
5. 一般外科医、血管外科医として地域医療に邁進してまいりました。また血管外科学会理事としてデータベースやワークショップを担当しています。日本外科学会のさらなる発展に少しでも貢献していきたいと考えます。
6. 新任

1. 内田 広夫 2. 1964/2/11
3. 名古屋大学大学院 小児外科学
4. 平成 1 年 3 月東京大学医学部医学科卒業
平成 6 年 4 月自治医科大学
平成 13 年 3 月東京大学大学院医学系研究科卒業
平成 13 年 4 月獨協医科大学越谷病院
平成 15 年 4 月埼玉県立小児医療センター
平成 25 年 8 月より現職
5. 多くの若手医師が外科を目指したくなるような環境の整備, および安心, 安全な治療を行える, また受けられる環境の整備を行っていきたい
6. 現職

1. 宇山 一郎 2. 1960/9/16
3. 藤田医科大学 先端ロボット・内視鏡手術学
4. 1985 年; 慶應義塾大学医学部外科学教室入室
1997 年; 藤田保健衛生大学消化器外科第一科 講師
2006 年; 藤田保健衛生大学上部消化化外科 教授
2021 年; 藤田医科大学先端ロボット・内視鏡手術学 教授,
5. 上部消化管疾患を中心に低侵襲手術の開発, 安全な普及に尽力してまいりました。今後は, ロボット手術を軸として若手外科医のリクルート・教育などに尽力し, 本学会の発展に貢献したいと思います。
6. 現職

1. 瀧口 修司 2. 1967/3/1
3. 名古屋市立大学消化器外科学
4. H5.1 大阪大学第二外科入局→NTT 西日本大阪病院勤務
H17.4 大阪大学消化器外科助教
H23.4 大阪大学消化器外科講師
H27.3 大阪大学消化器外科准教授
H29.4 名古屋市立大学消化器外科主任教授
5. 外科志望者の減少, 国が求める働き方改革等により, 今後は業務の効率化の追求を余儀なくされると思われます。外科の魅力を若手に伝え, 希望を持って外科医が仕事に専念できるよう, 様々な努力をしていきたい。
6. 現職

1. 奥田 勝裕 2. 1974/7/18
3. 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態外科学講座 呼吸器・小児外科学分野
4. 2000 年名古屋市立大学医学部卒業. 2022 年 9 月より現職の名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・小児外科学分野の主任教授となり現在に至る.
5. 呼吸器外科ならびに内視鏡外科を中心に臨床・研究に研鑽しています. 微力ではありますが, 日本外科学会代議員として外科学会の発展に貢献したいと考えています.
6. 現職

1. 松尾 洋一 2. 1967/6/11
3. 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター
4. 1994 名古屋市立大学 第 1 外科 入局
2006 MD Anderson 癌センター留学
2013 名古屋市立大学 消化器外科 准教授
2020 同 教授 (診療担当)
2024 同 東部医療センター 教授
5. 私は肝胆膵領域を専門としながら, 四半世紀にわたり大学病院にて臨床・研究・教育に専心して参りました. 代議員として外科医減少に立ち向かい, 次世代を担う人材育成に尽力する所存にございます.
6. 新任

1. 遠山 竜也 2. 1964/1/19
3. 名古屋市立大学 乳腺外科
4. 1989 年 名古屋市立大学卒業, 同 第二外科入局. 1996 年 カナダ・カルガリー大学留学. 2003 年より愛知県がんセンター乳腺科医長. 2016 年より名古屋市立大学 乳腺外科 教授. 現在に至る.
5. 外科医が減少しているなかで, 日本外科学会においては乳腺外科医のリクルートと育成に注力したいと思っています. 大学勤務であることから, 医学生・研修医へ乳腺外科を通して外科医の魅力を伝えたいと思っています.
6. 現職

1. 中野 正吾 2. 1965/2/27
3. 愛知医科大学乳腺・内分泌外科
4. 1991 年に熊本大学医学部卒業. 同外科学講座第二に入局し, 関連病院にて一般外科を研鑽. 2000 年に学位取得後, 東大医科研, 癌研附属病院を経て, 2002 年より愛知医科大学乳腺・内分泌外科勤務.
5. 乳腺・内分泌外科学の発展に寄与できるように努めたい. 外科医のなりて不足の深刻さを肌身に感じているが, ワークライフバランスの充実や教育を keyword に学生や若手医師に外科の魅力を発信していきたい.
6. 新任

1. 阿部 知伸 2. 1966/10/18
3. 藤田医科大学心臓外科講座
4. 1992 年名古屋大学医学部卒.
1999 年トロント大学心臓血管外科クリニカルフェロー. 2013 年名古屋大学心臓外科講師. 2018 年群馬大学循環器外科教授. 2025 年藤田医科大学心臓外科講座教授.
5. 関東での教授経験も活かし, 東海地区ならびに本邦の外科の発展に尽力してまいりたいと存じます. 教育・診療・研究の調和を重んじ, 次世代育成と地域医療の充実にも貢献して行きます. 宜しくお願い致します.
6. 現職

1. 松山 克彦 2. 1965/11/8
3. 愛知医科大学 心臓外科
4. 2015 年より愛知医科大学 心臓外科教授として勤務
5. 外科学会, 特に心臓血管外科分野の発展のため寄与したい
6. 現職